

ハマオモトヨトウ稲美町で採集される  
新家 勝

加古郡稲美町の生物調査で採集されたガ類の中にハマオモトヨトウ1♀が含まれているのを発見した。採集データは次のとおり。

採集日：1.VIII.2000

採集場所：兵庫県加古郡稲美町岡

東はりま水辺の里公園内

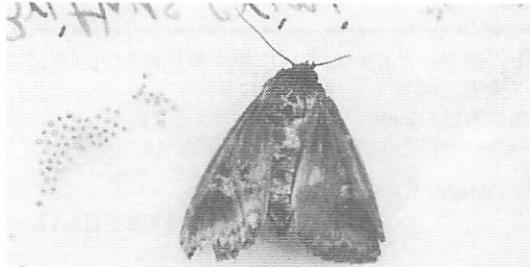
3次メッシュコード 52340784

ライトトラップ

採集者：川上徳子

採集して約2ヵ月後のサンプルを見た際、採集品を包んだ三角紙には、約170個の卵が生みつけられていた。卵は、浅いお椀を伏せた形で底面の直径約0.8mm、上面は黒褐色ないし黄褐色で周辺部はほぼ透明。褐色の濃淡は成熟度または死後の変質度によるのではないと思われる。

本種は、県下では神戸市における幼虫の採集例および津名町における採取幼虫からの飼育例のみが報告されている<sup>1)</sup>。また、兵庫県版レッドデータのCランク種でもある、なお、採集個体は新家が保管している。



採集個体と三角紙に生みつけられた卵(×1.65)



卵の拡大図(×50)

<参考文献>

- 1)高島 昭(2000) 兵庫県のヨトウガ亜科  
きべりはむし28(2)：62.

(NINOMI MASARU 宝塚市光明町8-57)

諏訪山公園でアサマキシタバを採集  
山口 福男

*Catocala streckeri* Staudinger (アサマキシタバ)を諏訪山公園で採集したので報告する。

採集地：神戸市中央区諏訪山町諏訪山公園

採集日：2001年5月25日 採集数：雄2頭

公園内の水銀灯に飛来して帰りそびれて建物の壁に静止していたのを採集した。標本は私が保管している。アサマキシタバは兵庫県版レッドデータブックにあげられている希少種で、これまでの県内での記録は高島氏が1996年に本誌第24巻第2号に報告されている。これによると本種は県南部に点々と得られていて、産地での個体数は必ずしも少なくないのに記録の乏しいのは発生時期が5月下旬から6月のために発見され難いのではないかと推察されている。なお神戸市の記録は松本健嗣氏によるもので2ヶ所で採集されているがいずれも北区山田地区(旧山田町)からである。

(YAMAGUCHI FUKUO

神戸市須磨区神ノ谷3丁目6-4)

市川町産蝶類目録(3)

広畑 政巳

姫路昆虫同好会の会誌「てんとうむし」にて兵庫県産蝶類目録(1)、(2)として76種の記録を報告したが、この度76種のうちアカシジミとダイミョウセリの新産地が確認できたので記録として書き留めておきたい。

<アカシジミ>

市川町上牛尾半瀬 1♂ 3.VI.2001 広畑政巳

本種は同地区の三ヶ所で確認している。食樹はブナ科のコナラ亜属とアカガシ亜属が知られており、当地ではコナラとアラカシが見られる。しかし、スギ・ヒノキの植林が進んでおり、本種の生息環境である雑木林は見られず、コナラ・アラカシも散見できるにすぎない。食樹は確認していないがコナラが極めて少ないのでアラカシを食樹としているのではないだろうか。本来なら生息する環境でないような所で発見できたのは驚きであった。

<ダイミョウセリ>

市川町上牛尾半瀬 1♂ 3.VI.2001 広畑政巳

(HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3丁目11-8)